

まちで集めた市民力

このコーナーには自薦、他薦を問わず、かわら版記者が町なかで収集した市民力をご紹介します。

公園がご近所の絆をつなぐ

三十六年間公園の美化活動を継続！

上町第六十三班（班長 坂主 洋さん）

昭和五十三年から毎月第一・第三日曜日に班内の公園の美化活動を続けているという上町六十三班の代表の方々にお聞きしました。

■この活動を始めたきっかけは？

★公園が分譲地の中心にあるため、みんなが親しみを感じながら使えるように、分譲時、農協（現JA）から公園の清掃などを要請されていた。

★当時全員が二十代後半から三十代の家族で子育ての時期であった。

★公園には遊具（ブランコ、すべり台、鉄棒、ジャングルジム）と砂場があったので、子どもが安全に楽しめるよう掃除や草取りだけではなく、遊具の手入れペンキ塗りなど、公園の維持管理を行うこととした。

■清掃日に参加しない人もいるのでは？

★時にはいますが、どうしたんだろう、病気かなと心配し声かけをしています。

★初期の八軒（現在九軒）に転出する家族はなく、長く付き合っているのので、気が分かってはいるから、できるだけ都合をつけて参加しています。

■美化活動のほかに何か行事がありますか？

★忘年会（班長引き継ぎと班の行事計画など）を一泊で毎年行っています。以前は子どもも一緒に家族全員で行っていました。子ども達は大きい子が小さい子の面倒を見て、子ども同士が楽しみにしていました。最近では親の世代だけになりました。

★夏にはバーベキューを行っています。みんなで作業を分担し、夕立がきても大丈夫なように、屋根のある駐車場で楽しく語りながらかしを過ごしています。

このようなことが習慣になり、公園の清掃だけでなく、班内の道路や塚原用水の美化活動を積極的に行っている方がいます。



市政功労者表彰（健全育成）を

受賞されました！

乙畑 高塩 洋さん（67歳）



乙畑の太鼓塚踏切で、小学生の登校時の安全指導を十年間継続している方にお話を聞きしました。

■この活動を始めたきっかけは？

十年前に近所で不審者が出没したことがきっかけで、防犯を兼ね、発足しました。つつじが丘から踏切までの道のりを見守っていました。

■活動内容は？

朝七時四十分～五十分まで子ども達の登校時です。朝のあいさつももちろんしています。踏切待ちの間に子ども達に算数

の問題を出したり、会話をしたりしています。顔なじみなので、毎日会えないと淋しいですね。

■心掛けていることは？

子ども達の安全が第一です。だから自分の健康にも気をつけて、休まず見守るようにしています。そして、あいさつも重要です。休みの日や週末の金曜日は子どもたちも疲れているように、こちらから



元気に声掛けをしています。■嬉しいことは？ ちょうどその時刻、北斗星が通過するのですが、運転手さんが警笛を鳴らし手を振ってくれることもあり、子ども達も喜んでいきます。

■気になっていることは？

車が避けてくれると思っ

ている子どもがいるので、ちょっと怖い時があります。そのため、車には注意が必要です。また、親が働いているために下校時刻の遅い子ども達も心配です。けれど、ボランティア「ひまわりスクール」のみなさんが預かってくれるのでありがたいです。

矢板駅周辺の美化活動を

十三年継続している方がいます。

ほとんど毎日矢板駅周辺のゴミを拾い、雑草を抜いている女性がいるので、紹介します。

その方は、自分の好きで行っていることで、それが多少でも他人から喜んでもらえるならそれで十

分と思っているそうです。だから、「かわら版で紹介したい」という申し出は嬉しいのですが、遠慮することとしました。

キッカケは（十三年前、大病院に行ったとき、その大病院前駅を降りてシヨックを受けた。そ

の駅前がゴミ一つ落ちてなくきれいだった。その当時、矢板駅前はゴミが散乱していたので、自分の病気が回復したらあの駅前のように矢板駅前も美しくしようと決心した）とのこと。

長年続けているので、声を掛けてくれる人が増え、それがその方の励みになっているそうです。